



Kagoshima Bank

News Release

2025年12月26日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直し、消費関連は一部で持ち直している。一方で、観光関連は弱含みつつあり、生産活動、投資関連は弱含み、雇用関連は弱い動きとなっている。全体として改善傾向が弱まりつつあり、今後の動きに十分注意する必要がある。

生産活動は、9月の鉱工業生産指数が2か月連続で前年を上回った。汎用・生産用機械は前年を下回ったものの、食料品、電子部品・デバイス、窯業・土石製品は前年を上回った。

畜産関連では、11月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4はともに前年を上回った。豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、10月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回り、コンビニエンスストア販売額はほぼ前年並みとなった。一方で、11月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を下回った。

観光関連では、11月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、3か月連続で前年を下回った。種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は2か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、民間建築工事費予定額は前年を上回った一方、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、10月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.01倍となった。

【生産活動】... 弱含み

電子部品関連は、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

10月の焼酎生産は、10か月連続で前年を下回った。芋焼酎がビール、ハイボールなど他の酒類との競争で苦戦しており、出荷量は11か月連続で前年を下回った。

9月のかつお節生産は、7か月連続で前年を上回った。

11月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが5か月連続で前年を下回り、民間工事向けは3か月連続で前年を下回り、全体では22か月連続で前年を下回った。

11月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

11月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。11月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が2か月連続で前年を上回り、去勢A4が10か月連続で前年を上回った。10月の枝肉生産量は前年を上回った。

11月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、2.6%増と4か月ぶりに前年を上回った。10月の枝肉生産量はほぼ前年並みだった。

11月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は5.2%増と14か月連続で前年を上回り、むね肉は37.9%増と14か月連続で前年を上回った。11月の処理羽数は前年を下回った。

11月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により21.0%増と前年を大幅に上回った。10月の配合飼料価格は前年をやや上回った。

【消費関連】... 一部で持ち直し

10月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品とともに前年を上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

10月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストアが前年を上回り、コンビニエンスストアはほぼ前年並みとなった。

11月の乗用車新車登録台数は、5か月連続で前年を下回った。車種別にみると、

普通車は 13.3% 減、小型車が 19.1% 増となった。11 月の軽自動車届出台数は 2 か月ぶりに前年を下回った。

【観光関連】… 弱含みつつある

11 月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は 3 か月連続で前年を下回った。関東、中部、香港からの入り込みや個人客、団体客ともに減少した。自然災害やインバウンドの減少などの影響は続いている。

鹿児島地区は、個人客が減少し、2 か月ぶりに前年を下回った。

霧島地区は、九州からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、7 か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、関西からの入り込みや団体客が減少し、6 か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は 2 か月連続で前年を上回り、奄美地区は 2 か月連続で前年を下回った。

11 月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】… 弱含み

11 月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

10 月の民間建築工事着工は、棟数、床面積は前年を下回り、工事費予定額は前年を上回った。

10 月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったものの、貸家が前年を大幅に下回り、持家も前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の 3 か月移動平均は前年を下回り、22.5% 減となった。

11 月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、5 か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】… 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

10 月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を下回ったものの、木材が前年を上回り、全体では 112.4% 増と 3 か月連続で前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年を下回り、全体で 26.8% 減と 9 か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 弱い動き

10月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.01倍となった。県内求人數を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

10月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.0%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

11月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が10件で前年同月（9件）を2か月連続で上回った。また、負債総額は6億84百万円で大型倒産が発生した前年同月（104億87百万円）を大幅に下回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 株九州経済研究所（TEL 099-225-7491）